

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果(桜ヶ丘小学校)

平均正答率

自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

	国語	算数
桜ヶ丘小	同等	下回った
埼玉県	69	64
全国	67.7	63.4

児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値(単位 %)

	質問事項	桜ヶ丘小	埼玉県	全国
生活習慣	朝食を毎日食べている	96.5	94.4	93.7
	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	82.5	84.5	82.9
	毎日、同じくらいの時刻に起きている	90.7	92.3	91.6
学習習慣	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている	82.5	83.3	80.7
	学校の授業時間以外に、普段1日当たり1時間以上、勉強をする(学習塾や家庭教師、ICTを活用して学ぶ時間も含む)	67.5	58.5	54.6
	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり1時間以上勉強をする	54.6	50.8	48.6
	放課後や週末に、家で勉強や読書をして過ごすことが多い	55.8	50.2	49.3
教科への関心	国語の勉強は好きだ	61.6	63.0	62.0
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	96.5	94.0	93.2
	算数の勉強は好きだ	54.6	60.4	61.0
	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	95.4	94.8	94.1
主体的・対話的な学び	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	84.8	85.4	81.9
	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた	66.3	73.3	67.6
	授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた	87.2	84.0	79.6
	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができた	90.7	88.9	86.3
その他	自分には、よいところがあると思う	88.4	85.9	84.1
	将来の夢や目標をもっている	90.7	83.6	82.4
	人の役に立つ人間になりたいと思う	97.7	96.2	95.9
	今住んでいる地域の行事に参加している	3.5	3.3	4.4

【質問紙分析】

- ・「自分には、よいところがある」「将来の夢や目標をもっている」「人の役に立つ人間になりたい」の項目で肯定的評価が高いのは、生徒指導の充実を図るとともに、キャリア教育等を通して自己分析したり、将来の夢を達成するまでの道のりを調べたりしているからだと考えられる。
- ・「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と答えた児童の割合は、埼玉県・全国よりも高くなっている。しかし、「算数の勉強は好きだ」と答えた児童の割合は、埼玉県・全国と比べて低い。躓きとなっている単元があることが原因であると考えられる。算数の復習を行う際に、丁寧に学習状況を見取る必要がある。
- ・「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた」の項目が全国・埼玉県より低いのは、「どのように伝えたらよいのか」「みんなの前で話したときの反応はどうか」などと考えてしまうことが原因であると考えられる。今年度の学校研究である「話し合い活動」を通して、考えを伝え合うことができるよう取り組んでいるところである。
- ・「今住んでいる地域の行事に参加している」の割合が極めて低い。学校では、地域や保護者の方に学習支援に参加していただいたり、環境整備のボランティア等を行っていただいたりして、児童と地域の方々との関わりを増やしている。地域の方々にご協力いただいていることで、地域への思い・愛着を高めたい。

全国の平均正答率と比較して大きく上回った問題○と課題のある問題●とその理由

【国語】

- 1**三 （理由）出題の趣旨は「目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる。」である。授業において、他教科等で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行ってきた結果であると考えられる。（アンケート結果からも読み取れる。）
- 2**一（2）（理由）出題の趣旨は「情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる。」である。授業の中でICT機器を使って情報を集める際に、情報を取捨選択し、分類して関係付ける活動を行っている結果であると考えられる。
- 2**三イ（理由）出題の趣旨は「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。」で、本問題は「投げる」を書く問題である。日常生活の中で、習った漢字を書く習慣が身に付いているからだと考えられる。
- 2**二 （理由）出題の趣旨は「目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。」である。問題文から必要な情報をピックアップすること、わかっていることと自分の意見を区別すること、文章の構成の仕方を正しく理解していないこと、等が課題なのではないかと考えられる。
- 2**三ア（理由）出題の趣旨は「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。」で、本問題は「競技」を書く問題である。日常的にあまり書くことがない漢字については、言葉の意味を捉えきれていないと考えられる。
- 3**一 （理由）出題の趣旨は「一文の中における主語と述語との関係を捉える。」である。文法を忘れてしまっていたり、文章の構成を正しく理解していなかったりするのではないかと考えられる。（文法は、他学年でも課題がある。）

【算数】

- 2 (1) (理由) 出題の趣旨は「計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる。」である。授業の中で、なぜその式になるのか考える学習を積み重ねてきた結果であると考えられる。
- 3 (2) (理由) 出題の趣旨は「直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解しているかどうかをみる。」である。授業の中で、展開図の組み立てについて視覚的に理解できるように取り組んだ結果であると考えられる。
- 5 (2) (理由) 出題の趣旨は「簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理することができるかどうかをみる。」である。理科や社会の学習等、教科横断的にデータを読み取る学習を行い、データの読み取りに慣れている結果であると考えられる。
- 3 (3) (理由) 出題の趣旨は「球の直径の長さと立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができるかどうかをみる。」である。立方体を構成する要素と球の直径の関係が捉えられていないと考えられる。
- 4 (3) (理由) 出題の趣旨は「道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる。」である。速さの意味が捉えられていなかったり、記述の仕方が理解できていなかったりするのではないかと考えられる。
- 4 (4) (理由) 出題の趣旨は「速さの意味について理解しているかどうかをみる。」である。速さを単位時間あたりに移動する長さとして捉えられていないのではないかと考えられる。

課題への取組・改善策

【国語】

- ・条件をつけて文章を書く練習をして、まとめる力を高めます。
- ・国語の時間外でも自分の考えをまとめることを積み重ね、振り返りを充実できるようにします。
- ・日常の生活でも漢字の意味や使い方に触れられる場や環境を整えます。
- ・聞かれていることは何か、書かれていること何かについて、自分の言葉で端的に説明する学習を授業の中に取り入れます。

【算数・数学】

- ・知識・技能の習得はもとより、答えに至るまでの過程・説明する力の習得に重きを置くようにします。
- ・授業の中で、自分の考えを説明する時間を多くとったり、他人の考えを説明する場を設けたりします。
- ・授業で扱った単元で、生活に結び付くものがあったら積極的に取り上げます。
- ・授業において、わかっていること、聞かれていることの読み取りや整理をし、全員で確認します。

【その他】

- ・学校研究である学級活動の話合い活動を充実させ、伝え合う力を高めます。
- ・個々の課題を把握し、家庭学習の質の向上を図ります。